

平成 25 年度 大館市立図書館『200 字感想文』一般編

250001 BM 140312

書名	舟を編む	著者	三浦 しをん
おおとり号の利用者で、『舟を編む』を読み終えました。「日本アカデミー賞」ですごいことになっています。この作品を読んでひとつの言葉・単語にはその人・その人のとらえ方があっていいのだと感じました。私は本を読む時、登場人物や場所を自分なりに頭で組み立てるので時間がかかりました(苦笑)。新聞で200字感想文を募集していることを知り勝手に書いています。3週間お待たせしました。平成26年3月8日。吹雪の日。			
請求記号:	/913. 6/ミ/	感想文を書いた人:	(無記名)

250002 中央 140313

書名	芸術新潮 2013年11月号 (雑誌)	著者	
内容の充実さに、購入しようとしたましたが、既に完売とのこと。手元において、いつでもながめてみたい、一冊です。 (編集部注:2013年11月号の特集は「利休と名碗」でした)			
請求記号:	Z///	感想文を書いた人:	ゆたぽん

250003 中央 140313

書名	子育てハッピーアドバイス 大好き!が伝わるほめ方・叱り方 小学生編	著者	明橋 大二
気づかないうちに、子供への期待はふくらみハードルを上げていたように思います。私も肩の力を抜いて、できてあたり前という意識を捨てて、まずほめてみようと思います。大事なポイントはメモにとりました。一度では習得できないので、たまに振りかえりながら心掛けていこうと思います。			
請求記号:	/379/ア/3	感想文を書いた人:	ゆたんぽ

平成 25 年度 大館市立図書館『200 字感想文』一般編

250004 中央 140321

書名	経済成長なき社会発展は可能か？	著者	セルジュ・ラトウーシュ
貧富の差が大きくなっていく資本主義社会はいずれ(すでに)破綻する。それにかわる社会の提案である。提案はわかるが、どうやって実現させるのかという方法論が弱い。訳が稚拙で、誤訳と思われる箇所も多かった。たった1行半の文に、～の～の～の～の…と、のが4回も出て来る。大変読みにくい本であった。			
請求記号:	/331/ラ/	感想文を書いた人:	北東北の鎌倉人